



まちづくり委員会 担当副理事長方針

小倉 大地

青年会議所は、いつの時代も社会課題に向き合い、時代に先駆けた運動を展開して参りました。このような運動をこれまで展開することができたのは、誰かを想い、「明るい豊かな社会」の実現を目指してきたからです。これから先より一層変化が激しい時代が予測されるからこそ、いち早く変化を察知し、柔軟且つ一人ひとりが主体的に対応できる組織であることが青年会議所としてあるべき姿です。そうすることで、今後も青年会議所がまちにとってなくてはならない存在であり続けられると考えます。

中津川市は、今日までそこに住まう人たちがまちを想い、まちづくりを進めてきました。しかし現在は、まちに関心はあるものの、まちのために主体的に行動できる人が減少しており、まちの活気がなくなりつつあると考えます。だからこそ、まちに想いを持って行動できる人財を創出していくことが重要です。

そのためには、我々は市民と共にまちに目を向け、他地域のまちづくりを知り、中津川市に合ったまちづくりをすることが必要だと考えます。そうすることで、まちに想いを持って行動できる人財が増え、活気に満ち溢れた中津川になると考えます。

私は、青年会議所活動を通して多くの方と出会い、その中で、新たな繋がり大切さと自身にない価値観を得ることができました。だからこそ、副理事長として、今まで培った繋がりを活かし、メンバーに新たな繋がり大切さや自身にない価値観を得られる機会を提供して参ります。

<まちづくり委員会>

地域に目を向ける中で、自身の住まう地域に関心を持ち、地域をより良くしたいという想いを持ってまちづくりに取り組める人財を創出できる事業を展開していただきたい。